

アオサギ観察会

2016年6月27日

身体のサイズあれこれ

アオサギを間近で見て、その予想外の大きさにびっくりされた方も多いのではないのでしょうか？ 小さな子供なら泣きだしかねない大きさです。それもそのはずで、首を伸ばして直立すると90-98cm、翼を広げると175-195cmにもなるといわれています。大人が両腕を広げるよりも大きいのです。



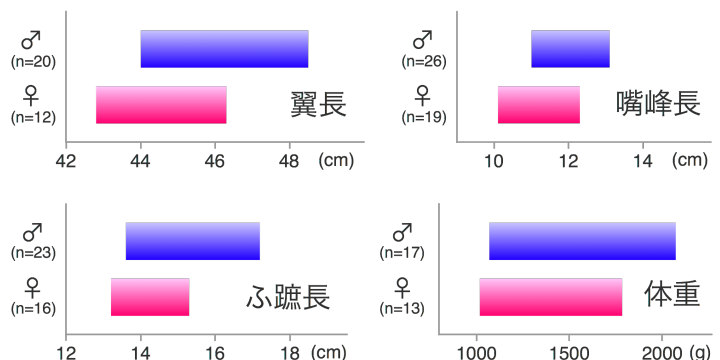
幼鳥はというと、きちんと計測すると成鳥に比べてわずかに小さいそうです。ただし、ほとんど分からないぐらいの差なのだとか。成鳥のほうが大きいと言う人がいますが、成鳥は



白っぽい上に繁殖羽もあるため、実際よりも大きく見えてしまうのでしょうか。なお、サイズ面では成鳥にかなわない幼鳥ですが、巣立ち直後の体重は成鳥よりわずかに重いとされています。これは餌を獲るのが下手な幼鳥が、巣立ち後、すぐに飢えてしまわないための適応なのでしょう。

それでは雌雄で体格に差はあるのでしょうか？ 野外で見かけるアオサギは、成鳥と幼鳥は区別できても成鳥はみな同じに見えます。しかし、正確に計測すると、じつは雄のほうが雌より少し大きいのです。たとえば体重を見てみると、雄の平均が1,505gで雌は1,361gだったとの報告があります。もっともこれは平均の話であって、すべての雄がすべての雌よりも大きいというわけではありません。つまり、雌のほうが雄より大きなペアがいても不思議ではないのですね。鳥類の中には猛禽のように雌が雄より大きい場合もありますが、体サイズの雌雄差という点では、アオサギは私たち人間に近いといえそうです。

ところで、雌雄の違いは体格もありますが、個人的な経験から言うと、体格よりもむしろ頭部から首にかけてのボリュームに違いを感じます。雄の頭は大きくがっちりしていて、雌は小作りで華奢な感じに見えるのです。そのつもりで観察すると意外と区別できるので、間近で観察する機会があれば頭部の見かけにもぜひ注目してみてください。



アオサギの体格の雌雄差

Cramp, S. and Simons, K.E.L. 1977. The Birds of Western Palearctic. Handbook of the Birds of Europe, the Middle East and North Africa, Vol. 1. Oxford University Press, Oxford. に記載された数値をグラフ化した。